

令和3年度事業計画書

【概要】

令和3年度は、すべての島民の創意と行動力を結集して「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目指して、さらなる淡路地域の発展に向けて、「淡路を担う人づくり」「花と緑豊かな環境づくり」「活気あふれる地域づくり」「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進する。また、淡路花博から20周年を記念し、「淡路花博20周年記念花みどりフェア」を春期と秋期に開催する。

なお、事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するほか、感染状況や国、行政の対応等も踏まえつつ、必要な措置を講じるなど、弾力的かつ効果的な運営に努めることとする。

【事業の内容】 ()内は予算額

I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座 (4,390千円)

淡路島の活性化と人づくりを目的として、島内外の多くの人々が淡路島のすばらしい自然、歴史、文化等への理解を深める講座を開催する。

《実施回数》 6回程度

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会 (3,505千円)

淡路島出身の偉人 永田青嵐(本名:永田秀次郎)の功績を全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚や、交流人口の増加による淡路島の活性化を図るため、第13回目となる全国俳句大会を実施する。

《実施内容》

- ・投句募集 令和3年6月～9月
- ・俳句出前講座 3回程度
- ・俳句入門講座 3回連続講座
- ・淡路島吟行バスツアー
- ・表彰式、特別講演会 令和4年2月27日(日)

3 花づくり人材育成事業 (986千円)

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会を開催する団体を対象に、花づくりの専門家(講師)の派遣費用及び材料費等一部を助成する。

- ・講師の派遣 15回程度(NPO法人あわじ緑花協会に委託)
- ・派遣対象 自治会、花づくりグループ等

(2) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」として知事認定を受けた者に受講料の一部を助成する。

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭 (17,808 千円)

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため関係機関等と連携し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催する。

(1) 淡路花祭 2021 春 (花みどりフェア (春期) イベントとして実施)

・期 間 令和3年3月20日(土・祝)～5月30日(日)

《主要事業》

- ・第9回高校生花とみどりのガーデン (県立淡路夢舞台)
- ・第8回お絵かき花壇づくりコンテスト (淡路島国営明石海峡公園)
- ・第9回淡路花祭フォトコンテスト
- ・花と緑の講演会 (淡路島くにうみ講座と併催)

(2) 淡路花祭 2021 秋 (花みどりフェア (秋期) イベントとして実施)

・期 間 令和3年9月18日(土)～10月31日(日)

《主要事業》

- ・第10回高校生花とみどりのガーデン (県立公園あわじ花さじき)
- ・花のシンボルオブジェの展示
- ・花と緑の講演会 (淡路島くにうみ講座と併催)

(3) 2022 冬咲きチューリップショー

花の少ない冬季に、新たな花の名所づくりを目的として冬咲きチューリップショーを開催する。

・期 間 令和4年1月～2月

・場 所 洲本市民広場ほか

(4) 淡路花祭 2022 春

- ・オープニングセレモニー (南あわじ市内)
- ・第9回お絵かき花壇づくりコンテスト (淡路島国営明石海峡公園)
- ・花のシンボルオブジェの展示
- ・淡路花祭クイズラリーの実施

2 花街道づくり事業 (3,114 千円)

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花による街道づくりを実施する個人・団体に対して上限20万円の助成を行う。

3 あわじ花へんろ事業 (5,549 千円)

花の島・淡路島の魅力を満喫していただくため、花の名所、景勝地、観光施設等72箇所を「花の札所」として紹介する。

《事業内容》

(1) 花の札所拡充事業助成

花の札所の新規指定又は魅力向上に取り組む札所を支援するため、整備費等について上限20万円の助成を行う。

(2) 「花の札所」開花状況等情報提供促進奨励金の交付

花の札所をPRするために発行する「花の札所 花だより」の情報提供を年2回以上行った施設に対して各2万円の奨励金を交付する。

(3) 花の札所連絡会の開催

あわじ花へんろ事業の推進について意見交換を行う連絡会を開催する。
(構成メンバー：花の札所管理者、淡路県民局、3市、淡路島くにもみ協会)

(4) 広報PR

- ① あわじ花へんろ花の札所スタンプラリー（巡礼大会）の開催
 - ア 花の札所スタンプラリー「四季のスタンプブック」（冊子版、リーフレット版）の作成
 - イ スマホ版WEBスタンプブックの運用及び情報発信
 - ウ スタンプラリー参加者プレゼントの実施（10・20・35・72スタンプの各コース）
- ② 「2022花の札所カレンダー」の作成（令和3年12月）
 - 四季折々の花の札所を特集したカレンダーを作成し、会員や関係機関に配布する。
- ③ 「花の札所 花だより」の発行（毎月）
- ④ あわじ花へんろホームページやフェイスブックによる情報発信

4 環境美化事業（495千円）

「環境立島淡路」島民会議に参画し、「環境美化月間」及び「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施する。

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 淡路花博 20周年記念花みどりフェアの開催（41,500千円）

国際園芸・造園博「ジャパンフローラ 2000」（淡路花博）から20周年を記念し、淡路花博がめざした人と自然との共生の理念を継承発展させるとともに、自然、歴史・文化、食など淡路島をはじめ兵庫の魅力を全国に発信する「淡路花博20周年記念花みどりフェア」を、春期と秋期の2シーズンにわたり開催する。

当協会はその事業主体となる実行委員会の事務局を運営するとともに、その事業経費を負担する。

・開催テーマ みなとつながる「花 緑 食の島」淡路

・会期

【春期】 令和3年3月20日（土・祝）～5月30日（日）72日間

【秋期】 令和3年9月18日（土）～10月31日（日）44日間

・会場

メイン会場	淡路夢舞台及び国営明石海峡公園、
	洲本市中心市街地、淡路ファームパーク・イングランドの丘
サテライト会場	島内観光施設等



2 地域活性化助成事業（4,000千円）

淡路島の活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業又は、国生み神話、御食国、日本遺産などの「国生みの島」に関連した事業を実施しようとする団体に対して経費の一部として上限20万円の助成を行う。

3 淡路島誘客支援事業 (25,380 千円) 【拡充】

「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」に来訪する団体等にバスツアー経費の一部助成を行う。また、誘客キャンペーンを関西圏だけでなく首都圏へ向けでも行うことで淡路島の魅力を広く発信しさらなる誘客を促進する。

《内容》

(1) 花みどりフェアバスツアー助成事業

貸切バス等を利用して「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」関連の指定施設を来訪するバスツアーに対して経費の一部を助成する。

[助成内容]

・春期

区 分	参加人数	基 本 助成額	加算助成額(該当する場合)		最大助成額
			新幹線・航空機利用	平日実施	
日帰り	10人以上	10,000円	10,000円	5,000円	25,000円
宿 泊	10人以上	30,000円	10,000円	10,000円	50,000円

・秋期

区 分	参加人数	助成額
日帰り	10人以上	25,000円
宿 泊	10人以上	50,000円

[対象旅行期間]

- ・春期 令和3年3月20日(土・祝)～5月30日(日)
- ・秋期 令和3年9月18日(土)～10月31日(日)

(2) 淡路島誘客キャンペーン

淡路島観光協会が実施する関西圏を対象にした淡路島フェアの開催、SNSによる情報発信、Youtube等を活用した動画配信、首都圏の主要書店等でのキャンペーン、インターネット旅行会社でのWebプロモーション等の取組を支援する。

4 淡路島インバウンド対応推進事業 (900 千円)

新型コロナウイルス感染症感染防止対策のためインバウンド客の大幅な減少が想定されるなか、感染終息後を見据え県民局等関係団体と連携してインフルエンサーを活用した視察ツアーやホテルコンシェルジュへの働きかけ、Webを活用したPRを行い海外からの誘客促進の土台構築及び訪日外国人客の淡路島への誘客を促進する。

5 淡路島観光協会支援事業 (5,700 千円)

淡路島総合観光戦略を推進するうえで必要な情報発信の強化や多様なコンテンツの開発、マーケティングによる観光客の動態調査など新たな課題に対応していくため、その中心的役割を担う淡路島観光協会の体制強化と事業の実施を県及び3市とともに支援する。

6 淡路島ブランド広域推進助成事業 (1,500 千円)

淡路島内の地場産品を利用して、魅力ある「淡路島ブランド」を創出・育成し、広域的に事業展開をする団体に対して経費の一部として上限50万円の助成を行う。

7 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド150 支援事業 (3,089 千円)

秋に開催を予定している「淡路島ロングライド150」の実行委員会に参画し、運営経費の一部を負担するとともに、県及び3市と協力して4箇所のエイドステーション(休憩所)で淡路島の食材を使ったふるまい等を行う。

(2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

本四道路活用イベント実行委員会に参画し、地域の魅力発信のためのイベントを実施する。

ア 明石海峡大橋海上ウォーク

明石海峡大橋の管理用通路歩行

《実施予定時期》

・令和3年11月

イ 大鳴門橋うずしおウォーク

大鳴門橋の管理用通路歩行

《実施予定時期》

・令和3年9月

(3) 広域連携イベント等支援事業 (3,800 千円)

淡路全島の行政、各種団体等が参画して実施されるスポーツ等のイベント、島外での淡路島のPR、自然環境保全の取組などを支援する。

(4) Awaji Art Circus 支援事業 (260 千円)

海外アーティストによる淡路島の地域資源も活用した国際アートフェスティバルの開催を支援する。

8 フィルムオフィス事業 (6,000 千円)

淡路島内での映画、テレビ、CMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネーター、エキストラの手配、撮影スタッフの宿泊斡旋等の支援を行っている「淡路島フィルムオフィス」の運営経費を負担するとともに、その事務局を運営する。

また、設立15周年を記念し、オール淡路島ロケによるショートムービーを制作する。

9 淡路島日本遺産推進事業 (1,210 千円)

平成28年4月に認定された淡路島日本遺産の認知度を高め、交流人口の増加による地域活性化に寄与するため3市、県民局等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、事業を推進する。

10 サイクルツーリズムの推進 (500 千円)

県、3市及び淡路島観光協会と連携し、琵琶湖をはじめとする日本各地の名だたるサイクリングコースと共同してサイクリング周遊イベントの実施や、ガイドブックの作成、専用ホームページの充実等によりサイクリストの誘客を促進する。

IV あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながらも、人口減少や経済規模の縮小といった課題に直面する淡路島において、地域資源を生かして「生命つながる持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組む。



【取組の3本柱と地域の将来目標】

- 1 あわじ環境未来島構想推進協議会の運営 (1,900 千円)
住民、地域団体、NPO、企業、行政等が幅広く参画する協議会を設置・運営する。
- 2 環境未来島シンポジウムの開催 (3,000 千円)
構想に掲げる「エネルギーの持続」の取り組みを推進するため、エネルギー需給の新たな取組みや制度について議論を深め、次代につながるエネルギー施策を考える機会となるシンポジウムを開催する。
- 3 あわじ環境未来島構想の啓発推進 (1,500 千円)
構想の意義や取組についてセミナーの開催やホームページ、小学生用副読本等により広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成する。
 - (1) あわじ環境未来島構想見学セミナーの開催
構想のより一層の普及啓発を図るため、構想に基づいて島内で展開されているプロジェクトの現場等を見学するセミナーを開催し、構想の意義や取組について啓発する。
 - (2) あわじ環境未来島副読本「みらい」の作成
副読本を小学生高学年等に配布し、総合学習などの授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとする。
 - (3) あわじ環境未来島情報発信事業
「あわじ環境未来島構想」専用ホームページの維持管理を行う。
- 4 「EVアイランドあわじ」の推進 (4,950 千円) 【拡充】
構想の柱の一つである「エネルギーの持続」の推進のため、エネルギー効率が良く、CO₂削減効果の高い電気自動車 (EV) の普及に取り組む。

- (1) 自動車教習所へのEV導入補助事業
島内の自動車教習所を対象にEVの導入補助を行い、島内住民がEVを体感できる機会の充実を図る。
 - (2) EV用充電器及び住宅充電システム設置補助事業
EVの導入促進と充電インフラ整備を図るため、EV用充電器または住宅充電システム(V2Hシステム)の設置に対して補助を行う。
- 5 淡路島農と食の体験ツアーの開催 (500千円)
島内外の一般消費者及び農と食に関心のある親子等を対象に、農作物のブランド化などの取組を進める農業生産法人等への現地見学や農業体験等ができる体験ツアーを開催し、「農と食の持続」を推進する。
 - 6 エネルギーの地産地消の促進(家庭用蓄電池の導入支援)(7,200千円)【拡充】
太陽光発電の自家消費対策として家庭用蓄電池を導入する島民に対して設備費の一部を支援することにより、家庭部門におけるエネルギーの地産地消を促進する。
 - 7 住民参加型太陽光発電事業(住民参加型くにうみ太陽光発電所)(46,947千円)
県立淡路島公園隣接用地に建設したメガワット級(約1MW)の太陽光発電施設を運用し、売電事業を行う。

V 普及啓発 (15,350千円)

「淡路花博20周年記念花みどりフェア」の開催にあわせて、当協会が実施する事業や「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」にふさわしい淡路島のイメージを島内外に広く発信する。

- 1 花みどりフェアを活用した広報
花みどりフェアメイン会場などで、来訪者へ協会の活動を紹介するリーフレットやノベルティグッズを配布するほか、花みどりフェア開催にあわせて情報誌などを活用して積極的に広報を実施する。
- 2 ホームページの運営
当協会のホームページの維持管理、情報更新等を行う。
- 3 協会広報紙の発行
当協会の概要や事業を紹介する広報紙を作成し、配布する。
- 4 各種媒体を使った広報
ノベルティグッズ(花の種等)を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行う。
- 5 事業への協賛
行政機関、各種団体等が実施する事業に協賛する。